

どすこいかわら版

発行 墨田区 編集 NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部

「錦心流琵琶全国一水会」取材

墨田区には、すみだNPO協議会があり、参加団体は毎年イベントを開催している。

昨年、錦糸公園で開催されたすみだ祭りに、記者の所属する団体も参加していたため、会場に向いた。「錦心流琵琶全国一水会」のコーナーに琵琶が置いてあった。眺めていると、会長の古澤史水さんが、「弾いてみませんか？」



と声をかけてくださった。抱えてみると、まるで膝の上に子供を抱っこした感じがした。右手に撥を持って弦を弾き、左手は、琴を弾くように、上からグッと弦を抑えて音程を調節する。琵琶演奏は、語りが主で、語りの合間に琵琶を弾き、その繰り返しとなる。

今年3月のNPO協議会の

イベントで墨田区役所1階のミニシアターで会長さんとお弟子さんの琵琶演奏を聴く機会があった。会場に響き渡る

語りの物語の合間に、力強い撥が繰り返す音と、哀調の細やかな撥さばきに、語りの世界へ引きこまれた。全国一水会の本部は、両国の回向院の真向かいのビル4階にある。琵琶は全国で6つの流派がある。その一つの薩摩琵琶は、正派、錦心流、錦琵琶の3系統があり、一水会はその錦心流派の一派になる。

会長さんにいくつか質問をさせていただいた。

△「一水会はどのような構成で運営されているのですか？」

「北海道から徳島まで全国に30支部があり、琵琶奏者は300人在籍しております。」

△「先生は日南市出身で学生時代は、詩吟を学ばれたようですが、琵琶を始めた、きっかけは何ですか？」

「長男である兄（薩摩琵琶・平家琵琶奏者）が先に始めていて、その影響です。」

△「会長のお気に入りの演目は、何ですか？」

「壇ノ浦の戦いや敦盛、俊寛などが好きです。琵琶は惻隠の情を語るのだと思っています。悲運にも敗れ去っていく武将たちへの心からのいたわりや、恵まれない弱い人たちへの温かい思いやりを歌詞の言葉と琵琶の音霊にのせて語っていただける幸せをいつも感じています。」

△「毎月、演奏会を開催していますが、今後の一水会の活動目標は、どんなことですか？」

「琵琶楽を学ぶ最終の目的は優しい人になることです。忘己利他の心を育てるために全国一水会は日本のみならず世界に支部を創っていきます。」

△「全くの素人が、琵琶を学ぶとしたらどうしたら良いのでしょうか？」

「まず演奏会に行つて琵琶を聴かれること、琵琶に触れて音を出してみることが大切です。そうすると琵琶のほうからあなたを包み込んで寄り添ってくれるはずですよ。」

会長に初めてお会いした時から親近感を感じていた。この取材で、琵琶は惻隠の情を語ることに最終目的は優しい人になることを知り、記者はこの説明に心底納得しました。ありがとうございました。

錦心流琵琶全国一水会
会長：古澤史水
本部：130-0026 墨田区両国2-11-1
パルサー両国ビル4階
電話：03-3846-2447
Email: furusawa@satumabiwa.net
http://www.satumabiwa.net

「ケーキ作りの準備」

ケーキ作りは得意としていた4種類に決めていた。ケーキ屋を開くまでに、時々ケーキを作っては、子供を通じて知り合ったお母さんたちや保育園の先生方に差し上げることはあった。ただでもらったケーキを「まずかったわよ。」と言う人はいなかった。

そこで試しに保育園のバザーでクッキーを売ってみることにした。アーモンドのクッキーを50枚作り、1枚50円で出品した。バザーの客にまぎれて、クッキー売りの様子を伺う。バザー開店と同時に、1人のお母さんが1枚買って試食していたが、その場で全部買い占めてしまった。その後、周りにいる友達に「これおいしいわよ!」と配っていた。もらった3人は、口をもぐもぐさせながら「私にも5枚、分けてよ。」などと賑やかにやりとりしている。人には言えないが、満足な手応えだった。後日、あの時の「買い占めお母さん」に道で会った際、すれちがいざまに思わず会釈してしまった。4月にケーキ屋をやろうと決めて

その3 山谷 いく

からは、夫の運転でケーキ屋巡りをする事が多くなった。デパートの地下はもとより、逗子や鎌倉の有名店まで足を延ばした。ショーケースに並ぶ何10種類もの中から、形、色、トッピングの違うケーキを10個ほど買い求めた。海の見える公園で、ピクニック気分で子供たちと分けあつて試食すると、「中身は同じスポン

ジで、上に乗っている果物が違うだけじゃないの?」と、がっかりすることがあった。しかしながら、ケーキ作りは生地や素材が違う一品を仕込むことに、計量や型の準備、調理に1時間は要する。

その代わりに、季節ごとに旬のケーキと差し替えれば、お客様は飽きないだろう。そして何よりも、美味しいケーキ屋を目指すからには、前日に売れ残ったケーキを、翌日に販売しないことである。しかし、その方針が、どんなに辛いものかは、まだ分かっていなかった。(次号へ続く)

<6月の丼>

手軽にクッキング 104

「3色手間なし丼」

<材料> 2人分 (1人分471kcal)

ごはん	300g
白いりごま	少々
いんげん	5本
卵(小)	2個
砂糖	小さじ2
塩	少々
サンマの蒲焼き缶	1缶
ミニトマト	3個



<作り方>

1. いんげんは斜め薄切りにして、塩ゆでする
2. 卵は、砂糖と塩を加えて炒り卵にする
3. サンマの蒲焼き缶は、取り出してフライパンで炒りつけ、ほぐす
4. ご飯は、白ごまをふりいれ、かきまぜる
5. 4のご飯を丼に盛り付ける
6. 5のご飯の上に、1のいんげん、2の卵、3のサンマを盛る
7. ミニトマトを2つに割り、3方向に飾る

※魚缶詰を利用したそばろの3色丼、お試しください。

(協力：食育支援部)

「どすこい倶楽部へ入会しました」 T・N

地藏坂商店街にある建物に「てーねん・どすこい倶楽部」と書かれた表札が掛かっています。住まいが近所なので、度々目にしていました。人の出入りを一度も見かけたことがなく、中々何をしているのかと思っていました。

私は、愛犬に次々逝かれ、この地に引越して来たことを機に、何か充実感のあることや、楽しめることをしたいと思っていました。これまで私は仕事でパソコンを使う機会が無かったので、今の時代は、パソコンを使えなければと、長い間考えていました。

「てーねん・どすこい倶楽部」で習える事が分かりました。定期的にパソコン講座は開催されますが、応募者が多く参加枠が限られています。「てーねん・どすこい倶楽部」に入会すれば、事務所の誰かにいつでも習えることが分かり、入会することにしました。



以前、テレビ付きの高価なパソコンを購入しましたが、自分の不注意で壊してしまい、自分の愚かさに腹立たしくなり、そのまま処分してしまいました。最近になり、中古のパソコンを入手したので、何処でパソコンを習おうかと思案していた時、

「てーねん・どすこい倶楽部」はボランティア活動をしている団体です。私は、他のメンバーと一緒にいろいろな、お手伝いをしています。でも、逆に私自身もボランティアの支援を受け

ていると感じる時もあります。

私はどこにも出掛けず、誰とも話さず、一人で食事をする日があります。依頼された作業を終えた後、仲間と一緒にするランチ、会合の後の飲食、ビール一杯、皆と交わすおしゃべり、ホットな情報交換等を行います。その時間は一人暮らしの私には楽しく心地良いです。入会して約一年ですが、「てーねん・どすこい倶楽部」に入って良かった。というのが私の実感です。今は沢山の友人や仲間ができました。先日、先輩に「一品持ち寄りランチをしたね。」と話しかけられ、私は大賛成しました。今から楽しみです。小さな非日常は、私にとっては大歓迎なのです。「孤独にならないように」、「閉じこもりにならないように」、楽しい事はなんでも、大歓迎です。

「5歳のチョコちゃん」に毎週叱られている私ですが、私にできることがあればメンバーの邪魔にならないように、お手伝いさせていたただきたいと思っています。

カラスのイラスト描いてみました。皆さんも、怒られませんか！ ように！



「シニア人材バンク 登録者募集中」

ボランティア活動をしたい方の登録と依頼に応じた派遣を行っています。

パソコン、麻雀、将棋、子育て支援、日本語支援、家事援助、生活支援、健康教室のお手伝い、各種講座、講演会の企画から会場の準備作業など、どなたでも気軽に参加できる、さまざまな活動を行っています。

皆様の知識、経験、特技、趣味等を地域で活かしてみませんか？

(4) 元気で100歳!! 墨田で生きよう!! 定年後の大きな生きがい発見!!

令和元年度 第1回 生きがい講座

笑いながら、脳に汗をかく2時間!

認知症予防トレーニング

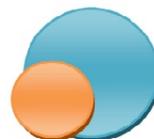


認トレ®教室

◎認知症予防を目的とした「身体的トレーニング」と「知的トレーニング」を組み合わせたプログラムを、認トレインストラクターと一緒にいきます。

◎“喜楽”に笑って、動いて、考えて…楽しく脳を若返らせます!!

【日時】令和元年7月17日(水) 午後1:30~午後3:30
【会場】すみだ女性センターホール(墨田区押上2-12-7-111)
【費用】無料 【定員】60名
【対象】おおむね55歳以上の方
【服装】軽い運動のできる軽装 【持ち物】飲み物



【認トレ®教室とは・・・】

MC I・認知症の早期発見・早期治療に取り組む「ひろかわクリニック院長/広川慶裕(京都大学医学部卒:日本精神神経学会精神科専門医・指導医)先生」が監修する「認知症予防トレーニング教室」です。

- 申込み・問合せ: NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部
〒131-0032 墨田区東向島1-17-8-2F
電話: 03-5631-2577 / Fax: 03-5631-2578
(受付時間: 平日午前10時~午後4時)
- 企画・運営: NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部
- 主 催: 墨田区



発行 墨田区福祉保健部高齢者福祉課
〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋1-23-20
電話 03-5608-6168

編集 NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部
〒131-0032 東京都墨田区東向島1-17-8
電話 03-5631-2577 FAX 03-5631-2578
(受付時間: 平日午前10時~午後4時)
メール tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp
ホームページ <http://tehnendosukoiclub.jpn.org>

編集後記
6月にも関わらず、夏日を記録していません。私は、すっかり忘れていましたが、いつものまにか、花粉が飛ばなくなり、目の痒みや、鼻水がすっかり止まりました。私にとつては至福の季節になりました。編集作業もより一層頑張ることが出来ます。

編集後記